



高水地協ニュース

〒383-0025 中野市三好町 1-1-19 Tel.0269-23-0505
Fax.0269-38-0575

連 合 長 野
高水地域協議会

○ 発行責任者 荻原 公和
○ 編集責任者 岩本 淳一

第 88 回高水地区（北信会場・須高会場）メーデー

『働く者の連帯で“ゆとり・豊かさ・公正な社会”を実現し、自由で平和な世界をつくろう』をスローガンに、両会場へ 1,428 名が参加



メーデー集会を待つ参加者（飯山市文化交流館なちゅら）

高水地協は例年同様に北信と須高の2会場において、それぞれの地連が主体者となり、地域の労働団体・単組へ参加を呼び掛けて実行委員会形式により開催しました。

□ 北信地区メーデー

昨年の中野市から飯山市へと会場を移し、25 団体・単組 578 名の参加者により開催しました。

日 時 2017 年 5 月 1 日（月）午前 9 時～

会 場 飯山市文化交流館“なちゅら”

来 賓 小林東一郎県議、高山恒夫飯山市議、
垣崎賢一労金中野支店長、武井秀樹全
労済北部支所長

祝 電 篠原孝衆議院議員、当該市町村長など
から 10 通

参加者 25 団体・単組 578 名
（うち北信地連 19 単組・517 名）

決 議 メーデー宣言、長時間労働を是正する
取り組みの強化に向けた特別決議

集会では、戸島実行委員長長の招集挨拶に続き、
議員団 2 名の連帯挨拶を受けました。デモ行進は

雨天決行し、新幹線が開通した J R 飯山駅を南端に市街
地中心部を行進、愛宕町（通称：仏壇通り）を経て会場
へ戻るルートです。アトラクションは、プラカード・デ
コカーコンクールの表彰に続き、参加団体・単組提供の
景品を含めて抽選会を実施しました。



降りしきる雨の中を歩くデモ行進隊

□ 須高地区メーデー

昨年同様、2 地点に分散してデモ行進を行いながら会場へ集合し、17 団体・単組 850 名の参加者によりメーデー集会を開催しました。

日 時 2017 年 5 月 1 日 (月) 午前 10 時～

集 合 芝宮神社・須坂市役所の 2 地点に分散
※デモ行進は午前 9 時に同時出発

会 場 百々川緑地公園

来 賓 三木正夫須坂市長、杉尾秀哉参議院議員、
須坂市議 (岩田修二、宮坂成一、竹内勉、
荒井敏、久保田克彦)、高山村議 (畔上孝一、湯本眞也)、長瀬ゆき子共産党北部地区委員会代表、松下隆志県北信労政事務所
長、高山久労金須坂支店長、原田高教全労
済長野支所長補佐

祝 電 篠原孝衆議院議員含む国会議員より 3 通
参加者 17 団体・単組 850 名

(うち須高地連 11 単組・640 名)

決 議 メーデー宣言

降雨の中、シュプレヒコールを連呼しながらのデモ行進～メーデー集会を実施しました。集会は全員のメーデー歌の合唱で幕を開き、荻原実行委員長の招集挨拶に続き、三木市長と長瀬ゆき子氏の連帯挨拶を受け

また。その後、県中央メーデーでの挨拶を終えた杉尾参議院議員が駆けつけ、あらためて連帯の挨拶をいただき、引き続き参加単組・団体による 1 分間アピールとスローガンの確認、メーデー宣言の採択を行い、メーデー歌の合唱および「団結がんばろう」を三唱して集会を閉じました。そのあとのアトラクションは、プラカード・デコカーコンクールの表彰に続き抽選会を実施しすべてのメーデー行事を終りました。



荻原実行委員長の発声で「団結がんばろう」を三唱

メーデースローガン

□ 北信地区メーデー

働く者の連帯で『ゆとり・豊かさ・公正な社会』を実現し、自由で平和な世界をつくろう！

<特別スローガン>

東日本大震災と県内被災地を忘れない！
息の長い復興支援！

<サブスローガン>

1. 労働者保護ルール改悪に断固反対しよう！
2. すべての働く者のワークルールを実現しよう！
3. 戦後の教訓を生かし核兵器廃絶と世界の恒久平和を実現しよう！
4. 人権が尊重される社会を実現しよう！
5. 地域産業発展のために地産地消を進めよう！

□ 須高地区メーデー

働く者の団結で、生活と権利、平和と民主主義を守ろう！

<サブスローガン>

1. 立憲主義と民主主義を取り戻し、戦争法廃止、共謀罪法絶対廃案、安倍「暴走」政治を STOP させよう！
2. 大幅賃上げ・底上げ実現で景気回復、消費税増税の中止をはかり、貧困・格差を解消し、地域の活性化をはかろう！
3. 被災者の生活を支え、希望の持てる復興を一日も早く実現しよう！
4. 原発の再稼働に反対し、原発に依存しない社会をめざそう！

メーデー宣言

本日、私たちは第 88 回メーデー地区大会を開催した。尊い命を奪い甚大な被害をもたらした東日本大震災から 6 年、熊本地震から 1 年が経過した。今なお多くの方々が、避難生活を余儀なくされているなど不自由な生活を強いられている。また県

内においても長野県北部地震から 6 年、2014 年の南木曽土石流災害、御嶽山噴火災害、神城断層地震から 2 年半が経過しているが、暮らしの拠点・地域の復興・再生は道半ばである。巨大災害の経験により、私たちは「人」と「人」とが支え

合い、助け合わなければ生きていけないことを改めて学んだ。震災を絶対に風化させない、そして「復興・再生」のため、絆を深めた仲間とスクラムを組んで全力で支えていく。

世界に目を向けると、グローバル化の負の側面に加え、保護主義の台頭や差別を助長する排他的な言動、テロリズムの横行などが相まって、格差や貧困が拡大し、人々の不安は高まっている。今の政治に必要なのは、対立を煽るのではなく、持続可能で包摂的な社会に向けた責任ある言動、さらに丁寧な対話と発信である。労働組合が長きにわたり主張してきた「長時間労働の是正」や「ワーク・ライフ・バランス社会の実現」が、いま大きなテーマとしてクローズアップされている。労働時間の問題は働く者の命にかかわる問題である。生きるために働くはずが、命を奪われ、あるいは心身に深い傷を負ってしまうという悲痛な出来事に歯止めをかけていかねばならない。

メーデーは労働者の国際連帯の日であり、8 時間労働制の原点の日でもある。私たちはすべての働く仲間と連携し、戦争や紛争、テロはもちろん格差や貧困、環境破壊や人権侵害の撲滅、ディーセントワ

ークが確立できるよう取り組んでいく。

私たちの力の結集で「働くことを軸とする安心社会」をめざし、安倍政権の暴走をストップさせ「戦争法廃案」「共謀罪廃案」、立憲主義・民主主義を取り戻し、残業代ゼロなど労働法制の改悪を止め、賃金引上げ・底上げで内需拡大を実現し、労働者・国民の生活を改善し、すべての働く者に元気をみなぎらせ家庭や職場で笑顔を輝かせていくことを高らかに宣言する！

2017 年 5 月 1 日

第 88 回北信地区メーデー集会



参加単組によるパフォーマンス(北信)

長時間労働を是正する取り組みの強化に向けた特別決議

メーデーと労働運動の歴史は長時間労働の是正、働きがいのある人間らしい労働を追求する営みの歴史でもある。「8 時間の労働、8 時間の睡眠、8 時間の余暇」をめざした先人の取り組みによってこれまでに様々な政策・制度が積み上げられてきた。一方で現実には、長時間労働のために命や健康を損なう労働者が残念ながら後を絶たない。働く者と家族のためにも、私たちはこのような状況をこれ以上許さない。こうした中、労働基準法の制定から 70 年を経て、私たちが求め続けてきた「罰則付き時間外労働の上限規制」が法定化される見通しとなった。これは、労働時間に関する法令遵守意識の希薄さ、残業を前提とする企業経営のあり方など、長時間労働の温床となってきた社会の意識や行動を大き

く転換させる意義を持っている。だからこそ、すべての労使が不断的な努力を重ね、その実効をより一層高めていかなければならず、とりわけ、労働組合に組織された私たちこそが、それぞれの持ち場で、その社会的な役割を発揮していかなければならない。以上を踏まえ、私たちは次の取り組みを改めて強化していく。

- 一、長時間労働の撲滅とワーク・ライフ・バランスの実現、とりわけ「過労死ゼロ」に向けた職場における様々な活動
- 一、勤務間インターバル制度の普及に向けた協約締結の拡大
- 一、労働組合のない職場を含めた三六協定の適正な締結に関する啓発
- 一、長時間労働の原因の一つである企業間などの取引環境の適正化
- 一、運動を広げる基盤としての労働組合の組織化・組織拡大

本メーデーを機に、私たちは、すべての働く者の命と健康を守り、仕事と生活の両立を保障するため、働く者の力と行動で、職場と地域から労働時間と働き方に関する新たな常識と歴史をつくり、それを社会に広げていこう！ 以上、決議する。

2017 年 5 月 1 日

第 88 回メーデー須高地区大会

第 88 回北信地区メーデー集会



メーデー歌を合唱するコーラス隊(須高)

「STOP！長時間労働」を街宣車で市民アピール

連合「クラシノソコアゲ！応援団」全国統一行動キャンペーンの一環として、「STOP!長時間労働」をテーマに4月10日～11日の二日間、連合長野の街宣車にて高水地域を市民アピールしました。

今号では、街宣車で放送した市民アピールの一部を紹介します。

皆さん、私たちは「クラシノソコアゲ応援団」全国の仲間をつくる労働組合の連合です。

今、日本では連日連夜の残業で心と身体をすり減らして、命を落とす方が一年で 200 人近くもいます。しかもこの数字は、過労死・過労自殺として労災認定を受けた数に過ぎず、氷山の一角と言われています。労働基準法では、週 40 時間・一日 8 時間を超えて働かせてはならないと定められていますが、労使協定を結び、ペナルティーとしての残業代さえ払えばいくらでも働かせることができる仕組みになっていることが大問題です。さらに労働基準法を守らず、働いた時間を正確に把握せず、残業代を払わない会社すらあり、社会的な問題になっています。このような中、働き方改革として「長時間労働の是正」が議論されています。私たち連合は、これ以上働かせてはならないという「労働時間の上限」を法律で規制することを求めてきています。また、仕事を終えてから次の勤務開始まで一定時間の休息を確保する「インターバル規制」を法律に定めることも求めています。今こそ、自ら職場からみんなで自分たちの命を守るべく、労働時間の上限規制が必要だという声を上げるときです。もし、職場で何かお困りのことがありましたら「0120-154-052（行こうよ連合に）」にご相談下さい。

皆さん、私たちは「クラシノソコアゲ応援団」全国の仲間をつくる労働組合の連合です。



栄村の JR 森宮野原駅にて

「暮らし、苦しくなっていませんか？」「仕事、チキンと報われていますか？」「老後や子育て、不安はありませんか？」「今の政策、働く人が主役ですか？」……。私たち連合は、安心して働くルールをつくるため、老後や子育ての不安をなくすため、



残雪の街道を駆け抜ける街宣車(飯山市郊外)

そして一人ひとりの暮らしに寄り添う政治をめざして全国で活動しています。さあ、みんなの声を力に変えよう！！ 私たちは「クラシノソコアゲ応援団」労働組合の連合です。

皆さん、私たちは「クラシノソコアゲ応援団」全国の仲間をつくる労働組合の連合です。

「休みがほしい。残業も多いしゆっくりしたい」「派遣なので、正社員になるのが夢！」「家のローンがあるから定年まで勤めたいな～」……。小さな声も集まれば大きな力に——、労働組合の連合です。

皆さん、私たちは「クラシノソコアゲ応援団」全国の仲間をつくる労働組合の連合です。

皆さんは「サブロク協定」という言葉を聞いたことがありますか？ 時間外・休日労働に関する協定のことです。労働基準法第 36 条に規定されていることから「サブロク協定」と呼ばれています。会社は従業員の代表とサブロク協定を結ばなければ残業させることはできません。月に何時間・一年で何時間まで残業させるのか、残業時間の上限時間について過半数を代表する労働組合が従業員の代表者と取り決めし、労働基準監督署に届けなくてはなりません。厚生労働省の調査では、40%以上の会社がサブロク協定を締結していません。驚くことに、およそ 16%の使用者はサブロク協定自体を知らないと答えています。会社はサブロク協定を締結しないと、一日 8 時間・週 40 時間を超えて働かせることはできません。あなたの職場にサブロク協定はありますか？ 今こそ地域から職場から、皆で自分たちの心と身体を守るべく、サブロク協定の正しい運用を求めるときです。もし、「サブロク協定が良く分からない」「残業代が払われていない」など、職場で何かお困りのことがありましたら「0120-154-052（行こうよ連合に）」にご相談下さい。

以上